

# SEC

## Suspension Error Canceler

### Type H

#### 取扱説明書

取付けは、必ず専門業者に依頼してください。  
取付ける前及びご使用前に必ずお読みになってください。  
本書はお読みになった後も、本製品の側に置いてご活用ください。  
ご使用中にわからないことや、不具合が生じた際に便利です。



Pursuing the Ultimate in Engine Performance and Efficiency.  
HKS Company Limited.

E89581-H22010-00  
2018年6月1日発行  
Ver.3-1.01

#### はじめに

この度は HKS SEC Type H をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
本書は、本製品を安全に使用していただき、かつ機能を十分に発揮させるために取付け前及びご使用前に本書をお読みください。

商品名	SEC(Suspension Error Canceler) Type H				
用途	自動車用可変ダンパシステムエラー解除装置				
適合車種					
車名	車両形式	エンジン形式	年式	コードNo.	
CIVIC Type R	FK8	K20C	'17. 9~	45012-AH001	
CIVIC Si	FC3/FC1	L15B	'17. 5~		

HKS SEC Type Hは純正車両の可変ダンパシステムエラーをメーターインフォメーション上に非表示にする装置です。  
純正ダンパをアフターパーツに交換した際、純正の可変ダンパシステムがエラーとなる場合に有効です。  
一般公道では交通ルールを厳守し、安全運転してください。

- 本書は本製品を安全に使用していただき、あなたや他の人々への危険や損害を未然に防止するために守っていただきたい注意事項を示しています。
- お客様、又は第三者が本製品及び付属品を誤使用したことにより受けた損害については、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品の取付けには、車両の内外装、及び電装系の取外し、加工等の作業が伴います。当社はこれらの作業による物的損害の責任を負いかねます。慎重に作業してください。
- 本製品はノーマル車両及びHKS製品取付け車両を基準に開発されており、上記車両以外に取付けた場合は、本製品の機能・性能及び安全性について保証いたしかねます。
- 本製品は、DC12Vマイナスアース車両のみに使用可能です。
- 本製品の仕様は付属品を含め、改良の為予告なく変更することがあります。
- 本書は予告なく改版することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本書はお読みになった後も、本製品の側に置いてご活用ください。

#### 目次

はじめに	1	維持・管理	6
目次	1	異常・故障時の対応	6
安全上の注意	2	本製品の仕様	6
パーツリスト	2	用語の説明	6
取付方法	3	改訂の記録	6
故障と思う前に	5	保証について	7
取扱方法	5	保証書	7

#### 安全上の注意

本書では、下記のような記号を使用してお客様への危険レベルを示しています。本製品を正しくご使用、お取扱いただくために下記の注意事項を必ず厳守してください。

**警告** 作業中又は使用者が死亡、又は重傷を負う可能性がある場合

**注意** 作業中又は使用者が傷害を負う危険が想定される場合(人損)拡大物の発生が想定される場合(拡大物損とは、当該製造物が原因で誘発された物的損害[例えば、車両破損及び焼損])

**警告**

- 本製品及び付属品が運転の妨げにならないように取付けてください。運転操作ができなくなり、事故の原因となります。
- 本製品は、DC12Vマイナスアース車両専用です。24V車両には取付けられません。
- 火災の原因となります。
- バッテリーのマイナス端子のターミナルを取外してから作業を行ってください。ショート等による火災及び電装部品の破損・焼損の原因となります。
- 使用中、本製品に異音・異臭等の異変があった場合には、本製品の使用を直ちに中止し、お買い上げの販売店にお問い合わせください。そのまま使用しますと、感電や火災の原因となります。

**注意**

- 本製品の取付けは、必ず専門業者に依頼してください。
- 本製品及び付属品の加工・分解・改造等の誤使用及び修理は絶対に行わないでください。感電及び車両の破損・焼損の恐れがあります。
- 精密電子機器のため、落としたり強いショックを与えないでください。作動不良を起こし、車両を破損する恐れがあります。
- オイル・水等の異物が混入しないようにしてください。作動不良を起こし、車両を破損する恐れがあります。
- 断線・ショート・誤配線の無いように取付けてください。感電及び車両の破損・焼損の恐れがあります。
- コネクタを抜き差しする際は、必ずコネクタを持って行ってください。ケーブルを引っ張ってしまうと断線の恐れがあります。
- 車両及び本製品の本来の性能が損なわれる場合には、速やかに点検・整備を専門業者に依頼してください。

- 日常点検はドライバーの責任です。必ず実施してください。
- 純正部品の取付け、取外しの作業はメーカー発行の整備書をよく読んでから行ってください。整備書がお手元がない場合は、メーカーにてご購入ください。
- 取付け作業のために一時的に取外す純正部品は、破損・紛失しないように大切に保管してください。
- ボルト・ナット類は適正な工具で確実に締付けてください。必要以上に締め付けを行なうと、ボルトのネジ部が破損します。

#### パーツリスト

本製品は、下記の部品で構成されています。取付け前に異音・欠品のないことを確認してください。

	本体×1		SECハーネス×1
	両面テープ×1 32×30mm		タイラップ 100mm×4 250mm×2
取扱説明書×2			

#### 取付方法

##### 1. 適合車種の確認

取付けを行う車両が、下記の適合車であることを確認してください。

車名	車両形式	エンジン形式	年式	備考
CIVIC Type R	FK8	K20C	'17. 9~	
CIVIC Si	FC3/FC1	L15B	'17. 5~	

##### 注意

- 適合車種以外への取付けは絶対に行わないでください。作動不良を起こし車両を破損する恐れがあります。適合車種以外に取付けを行った場合に発生した、不具合や損害については、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

##### 2. 取付に必要な工具の準備

取付作業には、下記工具が必要になります。  
・スパナ    ・内装剥がし

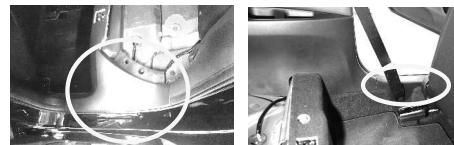
##### 3. 内装の取外し

可変ダンパシステムコントロールユニットは、後部座席左側の内装の裏側にあります。(FC1については整備書をご確認ください)

- ① リヤシートを取外します。(写真はFK8です)



- ② 後部座席左側リヤサイドガーニッシュを取外します。



FK8

FC3

- ③ シートベルトサイドカバーと、リヤシートサイドガーニッシュを取外します。FC3はピラーガーニッシュも取外します。



FK8

FC3

##### 4. SECの取付

- ① ENGINE START STOPスイッチがOFFになっていることを確認し、ボンネットを開けます。
- ② 車両の各コントロールユニットの電源を切るため、全てのドア・トランクを開めた状態で3分以上待機します。その後、バッテリーのマイナス端子のターミナルを取外します。  
※3分経過していない状態でバッテリーのマイナス端子を取外すと、次回始動の際に、いくつかエラーが表示される可能性があります。
- ③ ②の後、3分以上経過してから可変ダンパシステムコントロールユニットのコネクタを取外します。



- ④ SECハーネスを、可変ダンパシステムコントロールユニットと車両ハーネスの間に取付けます。  
次にSEC本体とSECハーネスを接続します。
- ⑤ SEC本体とSECハーネスをストレスがかからない箇所に、付属の両面テープとタイラップで固定します。



固定例 (FK8)

##### 注意

- ハーネスは強い力で挟んだり、引っ張ったりしないでください。ハーネス内部で断線・ショートを引き起こす原因となります。
- SECハーネス及びSEC本体の接続は確実に行ってください。接続不良は、車両や関連機器を破損する恐れがあります。

## 5. 取付後の作業

- ① 本製品の取付後、下記の項目に従って、取付作業に間違いのないことを確認してください。

確認項目	確認
ハーネス及び本体が他の部品と干渉していないか	
ハーネスは確実に固定されているか	
本体は確実に固定されているか	
配線は引っ張られていないか	
ハーネス及び本体は確実に接続されているか	

- ② 内装を取外した手順と逆の手順で取付けます。  
配線及び取付けた部品が他の部品と干渉していないか確認してください。

- ③ バッテリーのマイナス端子のターミナルを取付けます。  
※バッテリーを取外したことにより、VSA等のエラーが表示される場合があります。以下の作業を行ってください。

### 5.1. ステアリング舵角中点値学習

バッテリー接続後、ステアリング舵角中点値が消去されている場合、VSAエラーが表示されますので、次の作業を行ってください。

- ① 平坦な舗装路で、車速15km/h以上で直進走行してください。  
② 学習が完了するとエラー表示は消えます。

※ 安定した直進状態で約10秒程度走行すると学習が完了しますが、砂利道や荒れた路面、滑りやすい路面での走行、急加減速では学習が完了しない場合があります。  
学習が完了しない場合は、EPSシステムの故障診断を受けてください。

### 5.2. メーターインフォメーションの確認

- ① ENGINE START STOPスイッチをONにし、メーターインフォメーションを確認します。  
※取付け作業前に表示されていなかったエラーが表示されている場合は、1分程度走行した後、ENGINE START STOPスイッチをOFFにしてください。再度ENGINE START STOPスイッチをONにし、エラーが表示されていないことを確認してください。

- ② 可変ダンパシステムのエラーが表示されていないことを確認してください。

以上で、取付作業は終了です。

- 作業の方へのお願い  
取付作業が終了しましたら、本取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。

## 故障と思う前に

本製品が正常に作動しない場合には、故障と判断する前に、次の項目を確認してください。このとき、専門業者に本書を渡してください。

確認項目	確認
本体及びハーネスは正しく接続されているか	
本体及びハーネスのコネクタはロックがかかっているか	

## 取扱方法

- 整備・点検・車検等で、ディーラー等に車両を出す場合は、以下の点に注意してください。
  - SECを取付けた状態では、故障診断装置が使用できない場合があります。
  - SECを取付けた状態でも、可変ダンパシステムコントロールユニット内部のエラーは消えません。
- 一般公道では交通ルールを守り、安全運転してください。

## 維持・管理

注意
●SECやコネクタ接続部に水がかからないようにしてください。SECやコネクタ接続部に水がかかると、動作不良を起こし、SECや車両制御装置を破損する恐れがあります。 ●ユーザマニュアルに記載されている事項以外は専門業者に依頼してください。

- 快適に運転していただくために、必ず日常点検を行なってください。  
●汚れやオイルのついた手でSECに触れないでください。  
ケースが変色する恐れがあります。

## 異常・故障時の対応

注意
●使用中、本製品に異音・異臭等の異変があった場合には、本製品の使用を直ちに中止してください。そのまま使用すると、感電や火災の原因となります。 ●故障等の修理は、お客様ご自身では絶対に対処せず、必ず専門業者に依頼してください。 ●走行中に、車両に異音・異臭・振動等の異変があった場合には、ユーザマニュアルに従って対処してください。

故障の際は保証書に必要事項等が記入・捺印されていることを確認してください。  
保証書に症状を記入のうえ専門業者に修理を依頼してください。

## 本製品の仕様

- 作動電圧……………DC10～16[V]
- 動作可能温度……………-20～75[℃]
- 最大消費電力……………4[W]

## 用語の説明

専門業者	: お買い上げの販売店及び取付けを依頼する整備工場やショップ。
ユーザマニュアル	: お車の購入時についてくる車両の取扱説明書。
メーカー	: 車両の製造会社。
整備書	: メーカー発行の車両個々の整備要領書・修理書。
点検・整備	: 本製品と自動車全体を安全に運転するために機能・性能を確認し不具合部位を修理・調整すること。
日常点検	: 自動車を運行する人が行なう点検。日常点検及び点検項目はユーザマニュアルに従って作業を行なってください。
ノーマル車両	: 車両購入時の状態である・アフターパーツを取付けていない・事故を起こしたことがない、以上の条件を満たす車両。
誤使用	: 加工及び分解・改造・用途外使用を含む誤使用。
電装部品	: 車両の電気・電子部品。

## 改訂の記録

Ver.	日付	記載変更内容
3-1.01	2018/ 6	初版

## 保証について

本製品は「保証書」の内容に従って保証されています。「保証書」をよくお読みになり、お買い上げ日・店名・住所が記入・捺印されていることを確認のうえ、必要事項を記入し、大切に保管してください。記入漏れがあると、保証期間中でも有償となります。

■販売店様は 本製品は「保証書」の内容に従って保証されています。 「保証書」をよくお読みになり、販売店・貴店名・住所を記入・捺印のうえ、お客様に渡してください。 記入漏れがあると、保証期間中でも有償となります。
--

保証期間経過後の修理、及びお客様の不注意により、修理が必要になった場合は、販売店にお問い合わせください。

## 保証書

### 保証規定

- 故障が生じた場合、お買い上げの販売店にお申し出ください。
- 本製品の修理を依頼されるときは、本保証書に故障状況を明記し、お買い上げの販売店にご依頼ください。
- 下記の場合は、保証期間中でも有償修理とします。
  - 落下・衝撃・事故・異常電圧等による故障・損傷、又は火災・地震・風水害・落雷・公害及びその他の天災地変による故障・損傷。
  - 本製品が接続されている他の機器が原因で、本製品に故障を生じさせた場合。
  - ご使用後の経年変化・キズ及び部品や付属品の紛失等による修復・交換。
  - 本製品の仕様の限界を超えて使用した場合。
  - 保証書の必要事項（お客様名・ご住所・販売店名（印）・お買い上げ日等）が一つでも未記入のある場合、字句を勝手に訂正された場合。
- お買い上げ後の輸送・移動時の落下等のお取扱いが不適当なために生じた故障・損傷。
  - 消耗品及び当社の指定する標準交換部品等の交換。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.
- 製品保証は、当社の製品の本来用途の範囲とさせていただきます。本来用途外の保証はご容赦ください。
- 本製品を使用して生じた損害や、脱着工賃およびそれに付随する費用、また、自動車を使用することができないことによる損失等につきましては、一切の補償はいたしかねます。